

人の「生きる力」を引き出す、社会福祉のエキスパートへ。



社会福祉学部ホームページもご覧ください。

www.ris-fuku.jp/

「チカラがつく」

Point  
2

## 福祉の現場を間近で感じられる実践的な学び。

### 豊富な演習・実習科目で実践力を養う

1年次から少人数制のゼミナールを展開し、社会福祉や特別支援教育の基礎となるコミュニケーションの技法や、対人援助の知識や技術を実践的に学びます。学生同士や教員と濃密に関わり合いながら、主体的に「人」「社会」「支援」を学べる環境を用意しています。

#### ソーシャルワークコース

2年次から3年次にかけて、市役所や児童相談所等の公的機関、児童・高齢者・障害者の生活や就労の場等の社会福祉施設で、合計240時間のソーシャルワーク実習を行います。

#### 教育福祉・社会デザインコース (特別支援教育プログラム)

2年次後半から専門のゼミナールに分かれて学修を深め、3年次には教育現場を想定した模擬的な実践に取り組みます。4年次には教育実習と運動し、「教育者」としての自覚を深めていきます。

#### 教育福祉・社会デザインコース (地域づくりプログラム・ユニバーサルデザインプログラム・多文化共生プログラム)

事例検討、インタビュー調査、フィールドワーク等の演習・実習を通じて、さまざまな社会的課題の現状とその解決の方向性を学びます。

### カリキュラム

卒業基準単位数: 124 教養的科目: 24 専門科目: 100

※2024年4月1日入学者の場合。

	1年次	2年次	3年次	4年次
	<b>基礎を学修し「学びのスタイル」を確立</b> 学修への取り組み方や社会福祉学の基礎を学びます。演習もスタートし、学びのスタイルを確立します。	<b>専門領域に触れ方向性を定める</b> 「地域福祉論」「社会的企業論」等、多岐にわたる専門領域を学修。コース別演習も始まります。	<b>現場実習をとおして社会福祉を深く学ぶ</b> ソーシャルワークコースでは、約5週間の現場実習を実施。教育福祉・社会デザインコースは、アクティブ・ラーニングを行います。	<b>本格的に進路を選択し卒業論文を作成する</b> 卒業論文を作成。また、社会福祉士や精神保健福祉士等の国家試験や、教員採用試験の対策をします。
必修科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>学修の基礎Ⅰ</li> <li>社会福祉原論Ⅰ</li> <li>ソーシャルワーク総論Ⅰ</li> <li>社会福祉基礎演習Ⅰ・Ⅱ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仏教社会福祉Ⅰ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉専門演習Ⅱ (教育福祉・社会デザインコース履修者)</li> </ul>
選択必修科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎英語1・2</li> <li>総合英語1・2</li> <li>基礎英会話1・2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィールド演習Ⅰ</li> <li>ソーシャルワーク演習Ⅰ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィールド演習Ⅱ・Ⅲ</li> <li>ソーシャルワーク演習Ⅱ・Ⅲ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソーシャルワーク演習Ⅳ</li> <li>社会福祉専門演習Ⅰ</li> </ul>
選択科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>哲学Ⅰ・Ⅱ</li> <li>仏教学Ⅰ・Ⅱ</li> <li>歴史学Ⅰ・Ⅱ</li> <li>文学Ⅰ・Ⅱ</li> <li>社会学Ⅰ・Ⅱ</li> <li>日本国憲法</li> <li>法学</li> <li>心理学Ⅰ・Ⅱ</li> <li>経済学Ⅰ・Ⅱ</li> <li>統計論</li> <li>自然科学論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>政治学Ⅰ・Ⅱ</li> <li>生物学</li> <li>データサイエンス入門</li> <li>情報処理の基礎Ⅰ・Ⅱ</li> <li>ドイツの言語と文化Ⅰ・Ⅱ</li> <li>フランスの言語と文化Ⅰ・Ⅱ</li> <li>中国の言語と文化Ⅰ・Ⅱ</li> <li>コリアの言語と文化Ⅰ・Ⅱ</li> <li>健康・スポーツ科学</li> <li>スポーツ実技Ⅰ・Ⅱ</li> <li>ライフ・キャリア概論</li> <li>キャリア・デザイン入門</li> <li>社会福祉の入門</li> <li>社会福祉の歴史</li> <li>仏教文化論</li> <li>バイオエシックス</li> <li>教育学の基礎</li> <li>学修の基礎Ⅱ</li> <li>英語文献講読</li> <li>社会福祉原論Ⅱ</li> <li>ソーシャルワーク総論Ⅱ</li> <li>精神医学Ⅰ・Ⅱ</li> <li>現代社会事情</li> <li>手話入門演習</li> <li>音楽療法演習</li> <li>宗教学概説Ⅰ・Ⅱ</li> <li>教育心理学</li> <li>教職概論</li> <li>海外福祉事情</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時事英語1・2</li> <li>実践英会話1・2</li> <li>精神保健福祉の原理Ⅰ・Ⅱ</li> <li>仏教社会福祉Ⅱ</li> <li>社会保険論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>地方自治論</li> <li>地域福祉論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>生活困窮者支援論</li> <li>児童家庭福祉論</li> <li>家族福祉論</li> <li>障害者福祉論</li> <li>高齢者福祉論</li> <li>医学概論</li> <li>共生の福祉学</li> <li>社会福祉経営論</li> <li>医療ソーシャルワーク論</li> <li>精神保健学Ⅰ・Ⅱ</li> <li>精神保健福祉制度論</li> <li>社会的企業論</li> <li>コミュニティ形成論</li> <li>多文化社会論</li> <li>障害者教育総論</li> <li>知的障害者の心理・生理・病理</li> <li>肢体不自由者の心理・生理・病理</li> <li>病弱者の心理・生理・病理</li> <li>障害児教育アセスメント法</li> <li>ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ</li> <li>社会調査法</li> <li>ソーシャルワーク基礎演習</li> <li>ソーシャルワーク実習指導Ⅰ</li> <li>ソーシャルワーク実習Ⅰ</li> <li>ソーシャルワークの理論と方法〔精神保健〕Ⅰ</li> <li>精神障害リハビリテーション論</li> <li>TOEIC®特講</li> <li>特別支援教育課程論</li> <li>カウンセリングⅠ・Ⅱ</li> <li>障害者スポーツ論</li> <li>アダプテッドスポーツ実技</li> <li>倫理学とは何か</li> <li>臨床心理学</li> <li>生涯発達心理学</li> <li>生涯学習概論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>発達障害者教育総論</li> <li>視覚・聴覚障害教育総論</li> <li>地方自治論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>権利擁護と福祉</li> <li>刑事司法と福祉</li> <li>スクールソーシャルワーク論</li> <li>精神保健福祉制度特論</li> <li>労働と法</li> <li>ソーシャルワーク実習指導Ⅱ・Ⅲ</li> <li>ソーシャルワーク実習Ⅱ</li> <li>ソーシャルワークの理論と方法〔精神保健〕Ⅱ</li> <li>ソーシャルワーク演習〔精神保健〕Ⅰ・Ⅱ</li> <li>ソーシャルワーク実習指導〔精神保健〕Ⅰ</li> <li>特別支援教育実践研究</li> <li>知的障害教育</li> <li>肢体不自由教育</li> <li>病弱教育</li> <li>重複障害教育総論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソーシャルワーク演習〔精神保健〕Ⅲ</li> <li>ソーシャルワーク実習指導〔精神保健〕Ⅱ・Ⅲ</li> <li>ソーシャルワーク実習〔精神保健〕</li> <li>特別支援学校教育実習</li> <li>卒業論文</li> </ul>

※学部間相互履修制度がある学部もあります。詳細は各学部へお問い合わせください。 ※カリキュラムは変更される場合があります。